

かながわの 交通

2017 1月号

交通安全年間スローガン(警察庁長官賞)
〈～こども部門～小・中学生以下へ交通安全を呼びかけるもの〉

交通ルール まもれるぼくは 金メダル



謹賀新年

富士山

(足柄下郡箱根町)



二輪車運転気をつけて!

ヘルメットはもちろん、胸部プロテクター・エアバックを着装しましょう。

二輪車運転講習で「安全運転の知識と技能」を習得しましょう。

定期開催

神奈川県警察～セーフティライダー・スクール(SR)

二輪車普及安全協会～グッドライダーミーティング(GM)

警察本部・警察署では警察官を派遣して企業や学校などで講習会を開催しています。
問い合わせは(公財)神奈川県交通安全協会まで



二輪車事故
多発!!

◎県内の交通事故発生概況(平成28年12月末現在) ◎県人口・運転免許人口

年別	区分	発生件数	死者数	傷者数
平成28年		27,093	140	32,267
平成27年		28,313	178	33,773
増減数		-1,220	-38	-1,506
増減率		-4.3	-21.3	-4.5

	総数	男	女
県人口	9,148,109	4,567,023	4,581,086
免許人口	5,613,070	3,229,012	2,384,058
割合	1.6人に1人	1.4人に1人	1.9人に1人

(県人口は平成28年12月末、免許人口は平成28年11月末現在)

公益財団法人
神奈川交通安全協会

会長 石坂 浩二



新年明けましておめでとうございます。皆様方におかれましては、お健やかに新しい年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

県交通安全協会は、54地区交通安全協会と連携して地域の交通安全活動に取り組んでおりますが、皆様方には平素からこうした私と

年頭のご挨拶

神奈川県警察

本部長 島根 悟



謹んで新年の御挨拶を申し上げます。

公益財団法人神奈川交通安全協会の皆様におかれましては、輝かしい新春をお迎えのこととお慶

もの活動に對しまして深いご理解と暖かいご支援ご協力を賜っており、すことを心からお礼申し上げます。

昨年を顧みますと、交通事故で亡くなられた方は、前年比で平成20年以來の大幅な減少となり、事故件数、負傷された方も減少するなど、第10次神奈川交通安全計画のスタートの年としては、良好な成果を挙げたのではないかと思っております。これもひとえに県をはじめ県警察、関係機関・団体の皆様の懸命な活動と県民の皆様お一人お一人が、それぞれのお立場で家庭や地域、職場等においてご尽力いただいた賜でございます。こうした皆様のご努力に對し深甚なる敬意と謝意を表する次第でございます。

しかしながら、交通事故が減少している中にありましても、昨年11月に横浜市港南区で登校中の児童

び申し上げます。

貴協会の皆様には、平素から交通安全活動はもとより、警察行政各般にわたり深い御支援と御協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

さて、昨年の交通事故情勢を顧みますと、人身交通事故の発生件数、怪我をされた方のいずれにつきましても、前年に比べて減少し、特に亡くなられた方につきましても、統計の残る昭和23年以降過去最少となりました。

しかしながら、昨年発生した重大事故の中には、基本的な交通ルールやマナーを守り、運転者も歩行者も今一つ注意していれば、重大な結果にはならなかったであろうと思われるものが多くありました。

の列に高齢者の運転する車が突っ込んだ、痛ましい、悲惨な事故が発生いたしました。高齢者が運転する自動車の事故が増加しておりますし、また、高齢者が歩行中に被害にあう事故も多く発生しております。一方では、減少してはおりますが飲酒運転による悲惨な交通事故は依然として後を絶たないという状況もございます。

いよいよわが国の人口は減少に転じ、高齢社会は着実に迫ってきておりますことや、全国で発生しております高齢運転者の事故の現状を見ますと、高齢社会の交通安全活動のあり方を、県警察のご指導を得ながら形作って行くことの必要性を強く感じているところでございます。

そうしたことも踏まえまして、本年は交通安全協会といたしましては、県や県警察のご指導をいた

県警察といたしましては、本年も交通事故を減少させるため、悪質・危険な交通違反に對する交通指導取締りや街角アドバイスなどの街頭活動、あらゆる年齢層を対象とした交通安全教育、各種キャンペーン等の交通事故防止活動を強力に推進してまいります。

また、高齢運転者による交通事故が社会的な問題となっていることを踏まえ、安全運転を支援する取組のほか、運転免許証の自主返納制度をあらゆる機会を通じて周知し、高齢運転者が関係する事故の減少に努めてまいります。

交通事故は、「誰もが加害者にも被害者にもなり得る身近な問題」です。一人一人が、そのことを理解し、

きながら、

○ 高齢者の方を対象とした反射材の普及促進や参加体験型の交通安全教室の開催、免許証自主返納の促進

○ 子どもを交通事故から守る各種活動の推進

○ 自転車の安全利用に資する各種活動の推進

○ ハンドルキーパー運動の普及促進による飲酒運転の根絶

等を重点として、交通安全意識の高揚に取り組んでまいりますので、皆様にはより一層のご理解とご支援ご協力をお願い申し上げます。

結びに、皆様方のご健勝とご多幸を祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



基本的な交通ルールやマナーを守っていたことが、交通事故の抑止につながると考えております。

貴協会の皆様におかれましては、引き続き交通安全キャンペーンや朝夕における見守り活動や各種交通安全教育などの活動を通じて、県民の皆様の交通安全意識の高揚に、お力添えを賜りますようお願いいたします。

結びになりますが、本年も貴協会のますますの御発展と会員の皆様の御健勝を心から祈念申し上げます。また、年頭のご挨拶とさせていただきます。

第57回交通安全国民運動中央大会本会議 交通栄誉章「緑十字金・銀章」交通優良団体等表彰

金章7名、銀章31名、5団体が受章

1月20日、東京都の文京シビック

ホールで開催される第57回交通安全
全国国民運動中央大会本会議におけ
る(公財)神奈川県交通安全協会
推薦の受章者(団体)は次のとおり
です。
(順不同・敬称略)

★交通栄誉章「緑十字金章」

・交通安全功労者

外丸 吉男 (加賀町)
須藤 照彦 (神奈川)
三善 博明 (旭)
飯田 克吉 (青葉)
臼井 博一郎 (川崎臨港)
山口 武夫 (大磯地区)
青木 勲 (横須賀)

・優良運転者

青木 勲 (横須賀)

★交通栄誉章「緑十字銀章」

・交通安全功労者

西條 敏一 (加賀町)
芹澤 幸男 (山手)
岩崎 鉦司 (山手)
足立 道雄 (保土ヶ谷)
工藤 トミ子 (青葉)
横山 一郎 (青葉)
栗原 進 (都筑)
關 進 (川崎)
大橋 新太郎 (川崎臨港)
大谷 幸夫 (幸)
高橋 克己 (横須賀)
大川 渉 (横須賀)
二本木 茂 (浦賀)

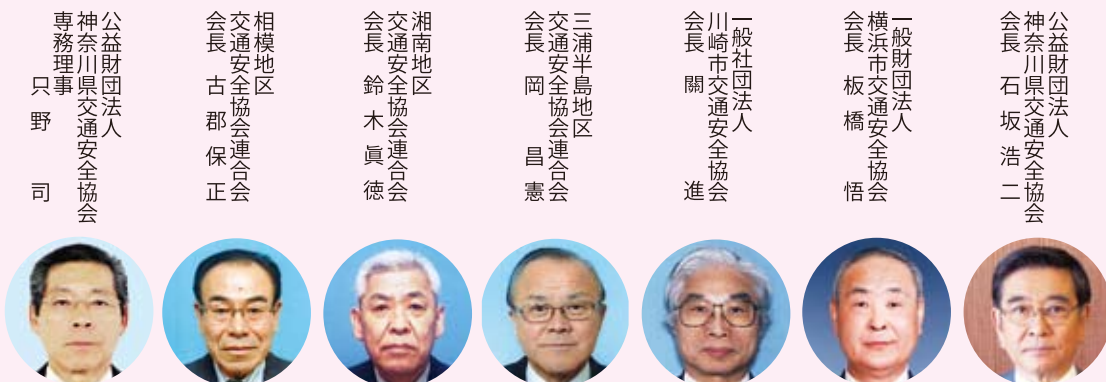
交通栄誉章「緑十字金章」受章者



★交通安全優良団体等

高橋 一 (葉山町)
高山 啓市 (逗子市)
小和口 三郎 (大船)
古木 隆充 (小田原)
星野 正明 (足柄)
湯川 茂樹 (足柄)
古谷 光一 (秦野市)
梅津 昌信 (厚木警察署管内)
古屋敷 エチ子 (旭)
芳賀 寛 (川崎)
篠原 靖明 (川崎臨港)
廣瀬 誠記 (横須賀)
伊豆 一行 (藤沢北)
飯山 登志男 (秦野市)
鈴野 美枝 (秦野市)
大野 洋子 (厚木警察署管内)
関 昭平 (厚木警察署管内)
澤塚 正史 (津久井)
・ (二財) 港北交通安全協会
・ 秦野市交通安全協会
・ 桜丘交通安全母の会
・ 横浜市立金沢小学校
・ 開成町立開成南小学校

新春のお慶びを
申し上げます



第57回交通安全国民運動中央大会で表彰される学校の紹介

◎ 横浜市立金沢小学校(横浜市金沢区町屋町26-26)

〔沿革等〕

金沢小学校は、明治6年、州崎の龍華寺にできた「知足学舎」が始まりで、平成25年に創立140周年のお祝いをしています。全学年で15学級400余名の児童が学んでいます。

京浜急行線、それと並行する国道16号と金沢シーサイドラインの間に位置し、金沢シーサイドライン「海の公園南口」駅まで徒歩6分、自然に恵まれ、近くに海の公園、八景島、野島などがあり、漁や養殖も行われており、神社や寺などの史跡もあります。

《学校教育目標》に【創りだせ Tommorrow わたしは Challenger】を最初に掲げ、

～自らの思いや願いの実現をめざして、ねばり強く学び続け、心豊かに明日を創りだす子～を副題として、●自ら学び続け、自分の考えを深める子(知) ●自然や人との豊かなかかわりあいの中で、お互いのよさや違いを認め合える子(徳) ●健やかな心と体をつくり、自分や人の生命を大切にする子(体) ●“まち”のひと・ことものを大切に、共に生きる子(公) ●社会の変化に関心をもち、柔軟に対応できる子(開)、を育てることとしています。

〔功績の概要等〕

子どもたちの安全を守るためには、学校・家庭・地域、そして関係機関との連携が重要であるとして、毎年、学校をはじめ町内会、区、警察署、土木事務所、交通安全協会などの関係機関及び子ども会会長、PTA役員、地区委員の方々による「スクールゾーン対策協議会」を開催。学校を中心とした一定地域を子どもの交通事故防止重点地区としてとらえ、総合的な交通安全対策を樹立し、地域住民参加による地域ぐるみの交通安全活動を推進することによって、子どもの交通安全を確保し、地域の安全な交通環境の確立とその定着化を図るため、メンバーの方々が通学路を調査し、写真や地図を添えて分かりやすくまとめ、関係機関の貴重な意見をいただいて検討しています。

これらをもとに子どもたちに登下校時の正しい横断歩道の渡り方や、自転車の通行方法など所要所で積極的に声かけを励行し、子ども自身が自分の身は自分で守ることを意識付けするなど、地域ぐるみの交通安全活動を推進して交通安全を図っています。

また、「金沢区自転車マナーアップ三世代大会」に毎年参加し、子ども、保護者、シニア世代との交流を通じて、また交通安全クイズラリーを実施するなどして、三世代が一緒に交通安全を考えることにより、子どもたちが交通ルールとマナーの大切さを学び交通安全意識が向上するように努めています。



◎ 開成町立開成南小学校(足柄上郡開成町みなみ二丁目2番地1)

〔沿革等〕

開成南小学校は、開成町の発展に伴って児童数が急激に増加したため、平成22年に町に2校目の小学校として設立されたばかりの新設校です。開校当初は18クラスでしたが、更に発展を続け、現在は教職員38人、20クラスに600人弱の児童が学んでいます。

小田急線開成駅に近く、周囲はのどかな田園風景が広がっており、町では水田地帯の道路や水路沿いに町の花である「あじさい」を植栽して、昭和63年から毎年6月頃「あじさいまつり」を開催しています。

《学校教育目標》は、「自立的に生きようとする子ども」「未来の創造に関わろうとする子ども」を掲げ、『めざす子ども像』のキャッチフレーズとして開成南小学校の『南:みなみ』を捉えて、●みつけよう考えよう本当のこと、正しいこと ●なかまと育もう温かい心、やり遂げる心 ●みつけよう、健康な体と生活習慣、を掲げています。

〔功労の概要等〕

交通安全教育活動については、地区別下校などで通学路の安全確認を行ったり、駐在所や警察署から派遣を受けて、1年生には慣れない通学路での注意、2,3年生には飛び出しなどの歩行者としての注意、4年生には「子ども自転車免許講習会」を開催して自転車の乗り方、5,6年生には合同で自転車運転者に関する諸注意等熱心に行っています。「子ども自転車免許講習会」は、午前中に校庭で実技試験を行った後、午後に交通ルールなど習得状況の学科テストを行ってから、約2ヶ月後に町長から「自転車運転免許証」の交付を受け、交通指導隊長から講話をいただくなど改めて自転車事故防止意識の高揚を図っています。

特に、自転車の交通安全教育には、開校前から38回続いている「自転車の安全な乗り方足柄上地区大会」への出場を通じて、子どもたちが自主的に自転車の交通ルールやマナーを学び、優勝チーム選手は校内で模範走行を披露するほか、翌年開催の県大会に向けて警察や町、交通指導隊などの熱心な指導を受けて訓練を行うなど、力を入れています。その結果、開成南小学校は県大会2連覇を果たし、全国区大会へも出場するなど、子どもの交通安全教育、情操教育にも効果をもたらしたばかりでなく、保護者、関係者、町民に対する交通安全意識の高揚にも寄与しました。



「第10次神奈川県交通安全計画」目標



初年で達成



昨年4月から「第10次神奈川県交通安全計画」が新たにスタートしましたが、本県の昨年の交通事故情勢は、県警察をはじめ関係団体や皆様方のご尽力により交通事故発生件数、交通事故死者数、交通事故負傷者数はいずれも前年より減少し、特に**死者数は交通事故統計を取り始めた昭和23年以降最少の140人**で、同計画が示した「年間の交通事故による24時間以内の死者数150人以下」という目標を達成することができました。

県警察では、昨年の成果及び交通事故の特徴を踏まえ

- ① 高齢者と子どもの事故防止対策
- ② 二輪車事故防止対策
- ③ 自転車事故防止対策
- ④ 飲酒運転等根絶対策



の4本柱を重点としつつ、昨年同様に毎月末6日間(4月、7月、9月、12月を除く)を『**月末6日間対策**』として県下一斉的に、また昨年、交通死亡事故が多発した横浜市内に『**横浜エリアゼロ対策**』として第一交通機動隊を投入、加えて昨年の多発傾向から『**県西エリアゼロ対策**』として県西地区に第二交通機動隊を重点配置して、交通指導取締りを強化してまいります。

平成28年度「年末の交通事故防止運動」実施結果

■ 交通事故発生概況(12/11(日)～12/20(火))

	発生件数(件)						死者数(人)						負傷者数(人)					
		子ども	高齢者	自転車	二輪車	飲酒		子ども	高齢者	自転車	二輪車	飲酒		子ども	高齢者	自転車	二輪車	飲酒
期間中累計	885	80	306	197	234	2	5	0	2	0	1	0	1,047	86	163	199	205	4
前年同期比	+21	+17	-15	+16	-2	-1	-1	-1	-1	-1	-1	±0	+33	+18	-20	+25	+10	±0

交通安全功労者表彰式を開催 《(一財)横須賀交通安全協会》

横須賀交通安全協会(中村昌弘会長)では、横須賀警察署講堂において同署加藤副署長臨席のもと、会長、副会長、理事などの役員20人が出席して、交通安全功労者に対する表彰式を行い、その功労を讃えました。



表彰の内容

- ◎ 横須賀交通安全協会会長賞
 - 優良運転者(15年)..... 14人
 - 優良運転者(10年)..... 15人
- ◎ 管区警察局長賞(優良運転者)伝達..... 2人
- ◎ 警察本部長、地域交通安全活動推進委員協議会会長連名表彰伝達..... 2人

2017交通安全カレンダー

(公財)神奈川県交通安全協会では、オリジナル「2017交通安全カレンダー」を作製しました。

表紙には、みなとみらい地区の背景に丹沢連峰と富士山をイメージ。1月に交通死亡事故抑止対策4本柱を掲載したほか、各季の交通安全運動や交通事故防止ワンポイントアドバイスなどを各月に、また表中には「月末6日間対策(4、7、9、12の各月を除く)」や県警察職員三交代制当番日を載せていますが、今年は新たに各月に行事等メモ欄を設けています。



高齢者へ運転免許証の自主返納呼びかけ《相模原交通安全協会》

高齢者による交通事故が社会問題となっていることを受けて、相模原警察署玄関前に「運転免許の自主返納 新しい第一歩を応援します」の看板(縦2.7m、横0.93m)を設置するとともに、相模原警察署では、JR横浜線から少し離れた市内中央区の田名及び上溝地区に在住する70歳以上の高齢者を対象に「車を運転する目的」、「運転頻度」、「運転に対する不安」、「免許証返納制度を知っているか」などを内容とするアンケートを実施しました。

今後、このアンケート結果を整理してバス、タクシーなどの輸送機関、病院、介護施設、市役所などと連携して、高齢者に対するサービス、運転免許証の自主返納促進などの新しい支援策を考えていくこととしています。



平成29年 交通安全年間スローガン決定

交通安全年間スローガン(平成29年使用)は、応募総数73,345点の中から次のとおり入選作品が決定しました。



☆ 一般部門A:運転者(同乗者を含む)へ呼びかけるもの

- ◎ 内閣総理大臣賞
抱っこより 深い愛情 チャイルドシート (広島県 伯野雅恵)
- 内閣府特命担当大臣賞
『ム』チャするな 『ジ』カンにゆとり 『コ』コロのよう (愛知県 知念真衣美)
- 警察庁長官賞
気のゆるみ 一杯だけが 命とり (兵庫県 西川昌子)
- ▽ 全日本交通安全協会会長賞(佳作)
お先にね どうぞどうもで なごむ道 (三重県 小林秀夫)
スマホ見る その一瞬が 事故のもと (兵庫県 藤原篤志)
ありがとう 早め点灯 思いやり (埼玉県 不破 努)

☆ 一般部門B:歩行者・自転車利用者へ呼びかけるもの

- ◎ 内閣総理大臣賞
身につけよう 命のお守り 反射材 (新潟県 齋藤 武)
- 内閣府特命担当大臣賞
まだ行ける 渡れそうでも 待つゆとり (兵庫県 村岡孝司)
- 警察庁長官賞
傘・スマホ 片手運転 事故のもと (埼玉県 青木裕子)
- ▽ 全日本交通安全協会会長賞(佳作)
聴いてみて イヤホン使わず 外の音 (北海道 古谷文奈)
ルール無視 子どもが見てる その行動 (青森県 島守俊充)
ヘルメット かぶせて守ろう 子供の未来 (茨城県 岩瀬孝子)

☆ こども部門:こども(中学生以下)へ交通安全を呼びかけるもの

- ◎ 内閣総理大臣賞
ペダルこぐ 免許はないけど ドライバー (東京都 比留間綺生)
- 内閣府特命担当大臣賞
わたろうか 迷う気持ちは 赤信号 (富山県 小熊夢唯)
- 警察庁長官賞
交通ルール まもれるぼくは 金メダル (福岡県 山田一太)
- 文部科学大臣賞
おともだち むこうにいても みぎひだり (愛知県 塚越柚葉)
- ▽ 全日本交通安全協会会長賞(佳作)
ここにいる 車に伝える 反射材 (岩手県 植木彩香)
手をあげて 大きく見せよう ぼくのこと (静岡県 小平莉穂)
(敬称略)

賛助会員の紹介

このコーナーでは、(公財)神奈川県交通安全協会の交通安全活動に賛同し、賛助会員としてご協力をいただいている企業等を順次ご紹介しています。(敬称略)

- セイユウ 横浜市保土ケ谷区岩崎町
- (株) K A N T Oモータースクール横浜西口校 横浜市西区南軽井沢
- 神奈川福祉事業協会 横浜市神奈川区鶴屋町



戸部交通安全協会
会長

三石 孝司さん
みつし たかし

あけましておめでとうございます。

平成29年の新春は、昨年6月に会長に就任しました戸部交通安全協会の三石会長からスタートします。温厚・誠実な人柄で行動的でもある三石会長は、昭和27年に創業した運送会社を営営しており、会社は今年で創立65周年を迎えています。社是として「安全・確実・迅速」をモットーに掲げ、中でも交通安全を第一にサービスに努めており、自社整備工場の整備・点検とドライバーの交通安全教育には、特に力を入れて交通安全事故の撲滅をめざしています。

神奈川県下3,000社以上の運送事業者で組織する県トラック協会には設立当時から会員となっており、平成16年5月には本部理事としてその運営にも携わり、広報委員長として一昨年まで交通安全などの啓蒙活動に取り組んだ功勞により「国土交通大臣表彰」を受賞しています。

戸部交通安全協会には先代社長の時代に入会し、

関係団体、特に区や警察署との連携に努めて、各季の交通安全運動などではみなどみらい地区や横浜駅東口をはじめ各所でイベントやキャンペーンを実施、また地区センター、ケアプラザなどでは、地域団体の理解を得て交通安全標識ビンゴや体験型の交通安全教室を展開しています。

平成17年6月からは副会長として10年以上に亘って活躍し、運送事業者としての高い識見を活かし、多発している追突事故の防止や、高齢運転者による悲惨な交通事故の社会的反響を受けて、ドライバーに対する呼びかけなど広報啓発活動を強化し、悲惨な事故が1件でも減少できる社会を願っています。

運送業界にも、AIによるトラックの自動運転という新たな展開が現実味を帯びてきている中で、先日、国土交通省が、ドライバー不足を補う対策として10トントラックが10トントラックを牽引する、いわゆる「フルトレーラー」の導入を推奨してきました。



将来の自動運転をも想定して、二輪車から大型トレーラーまで混在する道路において、交通安全を確保するためにはどのような規制や対策が必要なのか、喫緊の課題となっていますので、交通安全協会会長としても関心をもつて注視しているのとことです。

大学時代は、ワンダーフォーゲル部に在籍し、関東・中部・東北へと山行を重ね、卒業後は近場でゴルフをするなどしていましたが、20年ぶりに学生時代の仲間と登山をするということになり、登山用具を新調するとともに、トレーニングを行って、南アルプス北岳に登頂してからは毎年夏にアルプスを中心とした登山を続けていくとのことでした。会社から交通安全協会までは徒歩で往復するなど、体力・行動力には自信を持っている三石会長には、今後とも体力を維持され、健康に留意されまして、交通安全活動をリードしていただきたいと思います。

(取材協力…戸部交通安全協会)

こんにちは 「田浦交通安全協会」です

あけましておめでとうございます。

田浦は、横須賀市の北部に位置し、狭いエリアですが、人も環境も素晴らしいとても平穏な地域です。

エリアには、京浜急行電鉄と国道16号が平行して縦断し、JR横須賀線が横断しています。

また、逗子市・葉山町・横浜市金沢区と接し、交通利便な場所です。当協会の事務所も京急田浦駅から5分、国道16号沿いにあり、わかりやすいと評判です。

商店や住宅は、国道に沿って点在し、東京湾沿いには、日産自動車追浜工場や住友重機械工業横須賀製造所など大小約70の会社工場と海上自衛隊の施設があります。最近では追浜駅を利用することができるマンションが増えているようです。

風光明媚も自慢のひとつですが、「田浦梅の里」に代表されるように自然をゆっくりと楽しむ場所も多くあります。そこでは、ちょっと高台に上がると眺望が素晴らしく東京湾を望むことはもちろん、遠く房総半島まで見渡すことができ、四季折々の顔に出会うこともできます。

去年は、平成28年度から32年度までの横須賀市における陸上交通安全に関して、「第10次横須賀市交通安全計画」が発表されました。

当協会としても、田浦警察署のご指導を受けながら関係機関・団体と連携を図りながら、地道ですが、各季の交通安全運動キャンペーン等を確実に実施し、その一翼を担っていきたいと思います。究極の目標である「交通事故のない社会」の実現のため地域の方々の協力をいただきながら交通安全活動推進センターの拠点として、その役割を果た



すため、積極的に活動を推進してまいります。

今年は酉年です。

当協会も会員数の減少など問題を抱えておりますが、来所された方々に交通安全協会の活動などをご理解いただき、一人でも多くの方に参加いただけるよう、会員の確保に張り切ってまいります。そして「交通死亡事故ゼロ」がこれからも継続できますよう、地域の皆さんを取り込んでいきたいと思います。

(山口 記)

地区交通安全協会の活動紹介



北 港
東横線日吉駅前において、横浜マリノスチアリーダー6名とクラブキャクターの協力を得て、飲酒運転根絶等年末の交通事故防止運動キャンペーンを実施した。



原 中
警察署ほか、交通関係団体関係者90名が、武蔵小杉駅前において、反射材やチラシを配布しながら年末の交通事故防止運動を周知した。



浦 田
京急迫浜駅前において、推進委員等が信号待ちする車両の運転手に、チラシやグッズを配布しながら飲酒運転根絶、ハンドルキーパー運動の実践を呼びかけた。



市 浦 三
市民まつり会場で、自転車シミュレーターなどを活用、さらには啓発物を配布して、年末に向かつて交通事故防止を呼びかけた。



市 海 老 名
JR相模線自由通路で、県立3高校の生徒70名が参加して交通関係団体を120名とともに、年末の交通事故防止、飲酒運転根絶キャンペーンを実施した。

沢 金
京急金沢文庫駅前において、「飲酒運転大根ダイコン」絶キャンペーンと称して大根の新種800本を配布しながら、年末にかけての交通事故防止を呼びかけた。



緑
警察署前に集合し、「みんな厳罰 飲酒運転者とその周辺者」等のチラシを配布しながら通行車(者)に年末の交通事故防止を呼びかけた。



前 宮
東急田園都市線宮崎台駅前で、「飲酒運転根絶」交通安全ののぼり旗を掲げ、グッズを配布しながら飲酒運転追放撲滅を呼びかけた。



賀 浦
年末にかけて交通事故の多発が予想されるため、北久里浜駅前ではハンドブレートをかざしながら二輪車事故防止、シートベルト装着などを呼びかけた。



管内 厚木警察署
小田急線本厚木駅前の飲食店を訪問し、のぼり旗を掲げチラシやグッズを配布しながら、ハンドルキーパー運動の実践を呼びかけた。



インフォメーション

企画・安全委員会

2月23日(木)県協会会館